

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

国立国際医療研究センター病院循環器内科では、本センターで保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究を実施しています。

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問合せ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究に利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の問合せ担当者までお申し出ください。研究対象者が認知機能低下している場合や死亡している場合には代諾者から下欄の問合せ担当者までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 心房細動に対するカテーテルアブレーション術後の再発予測因子及び合併疾患に関する網羅的研究

[研究対象者] 2018年4月1日から2024年12月31日までに当院で心房細動に対するカテーテルアブレーション治療を施行した方

[利用する診療情報等の項目]

診療情報等：年齢、性別、病歴、身体所見、治療内容、服薬状況、血液検査データ、生理検査データ（心電図情報、心エコー検査データ）

カルテから上記に該当する情報を収集し利用します。

[利用の目的]（遺伝子解析研究：無）

心房細動に対する非薬物治療であるカテーテルアブレーション術は有効な治療方法の一つですが、一定数の患者さんで心房細動が再発する場合があります。心房細動患者さんでは、高血圧、糖尿病、心不全など様々な疾患を合併しており、これらの合併疾患などが心房細動アブレーション術後の患者さんの再発に寄与している可能性が報告されています。本研究は、どのような因子（術前の合併疾患、血液・生理検査データ、服薬状況等）が心房細動アブレーション術後の再発因子となるかについて解明することを目的としています。

[研究実施期間] 研究の実施許可日より2026年12月31日までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本センター倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、利用・提供する診療情報等から氏名、生年月日等の情報を削除し、個人が特定されないことがないように加工をしたうえで取り扱います。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問合せ担当者]

機関長：国立国際医療研究センター 理事長 國土 典宏

研究責任者：国立国際医療研究センター 循環器内科 医師 榎本 善成

研究内容の問合せ担当者：国立国際医療研究センター 循環器内科 医師 榎本 善成

電話：03-3202-7181（代表）（応対可能時間：平日9時～16時）

作成日：2025年2月21日

第1.1版